

市立病院 67年間 患者にも評判の「病院直営給食」

# 年間2千万円も損する委託はやめましょう

住みよい藤枝へ  
日本共産党の  
提案



市議会議員

大石のぶお



市議会議員

石井みちはる

◆昨年3月末現在の市立病院の累積赤字は16.1億円。他に市から借入金19億円近くあります。また、昨年度の収支は4億円弱の赤字決算で、余分な支出ができていない経営状況ではありません。

## 不明朗です 病院の委託決定経緯

病院の臨床栄養科が「委託」でなく「直営で」の検討結果を3年連続して提出していました。

- ◇2012年6月 病院直営の報告書
- ◇2013年9月 病院直営の報告書
- ◇2014年7月 病院直営の報告書
- ◆2015年8月 病院運営会議で委託決定。その際の議事録の有無不明



市立病院との話し合いをする「直営を守る会」のみなさん 2017年3月

## 食材の安全性も 心配です

市民の命の砦、藤枝市立総合病院。創立以来67年間、病院の直営で入院患者給食業務を続けてきました。

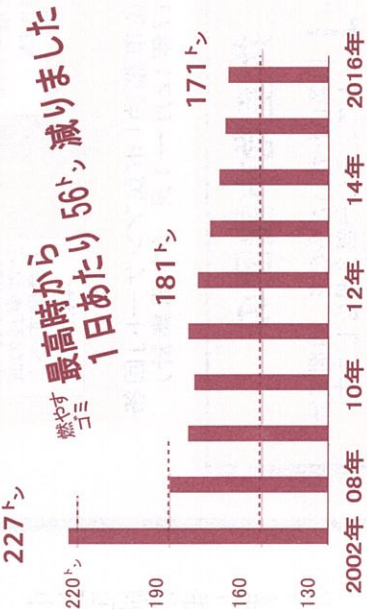
しかし、4月から東京に本社があるグリーンハウス(株)が業務を始めます。

一番の問題は、委託経費など、年間で2千万円以上も病院の負担が増えることです。

また、次のような多くの問題をふくんでいます。

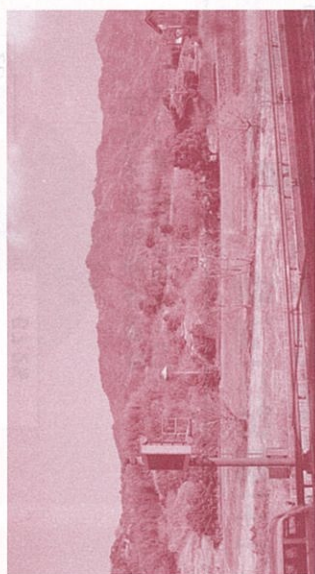
- ◆地産・池消が、ますます遠くなり、外国産、冷凍ものの多用による安全性も懸念されます。
- ◆受託会社の立場が強くなり、将来の受託料の値上げが心配です。
- ◆病院が委託の理由にしている「人手不足」は委託によって解決できるものではありません。

## 燃やすゴミ1日37トンを減らして 焼却場建設費40億円減らそうでは ありませんか



燃やすゴミ 最高時から1日あたり56トンを減りました

新しい焼却場 建設候補地 (仮宿)



いま、志太広域事務組合(藤枝市、焼津市)のゴミ焼却場・新クリーンセンターの建設計画が5〜6年後の完成を目途に進められています。

一日あたり230トンのゴミ焼却炉を180億円ほどかけて建設する計画です。建設費は、ゴミ1トンあたり約8000万円とされています。

## 堆肥や バイオ発電も視野に

生ゴミの有効活用  
生ゴミの半分は生ゴミです。生ゴミの堆肥化やバイオ発電事業に利用したり、プラスチックの収集・資源化などを積極的に進めれば、可燃ゴミを一日37トン減らすことは可能です。建設費40億円の削減は実現できます。

(二面参照)

## 高齢者も若い人も いよいよ暮らせるまちに!

### ◎ 高齢者の免許返納対応策

- ・デマンド(呼び出し)タクシースターの拡充や、バス無料券の期間延長など高齢者の免許返納対策を進めます
- ・買い物「難民」対策として、移動販売、共同スーパーなどを奨励、支援します

### ◎ 子育て支援

- ・学校給食の無償化をめざし当面、低学年生から段階的に実施します
- ・米飯はアルミパックから、釜だきご飯に切り替えます
- ・中学生以下の国保税均等割り額、1万円引き下げます
- ・大学生に市独自の給付型の奨学金制度を設けます

### ◎ 高齢者の働き場を広がります

- ・シニアセンターへの支援を強め、働き場を広がります

二面もご覧ください

市議選めざす 日本共産党の政策です ご意見をお寄せください

# 明るく藤枝

2018年 新春号  
日本共産党  
藤枝市委員会  
電話・FAX  
054-641-8674  
又は  
0547-36-9122